

芦屋市議会議員

大原ゆうき

令和2年  
9月定例会特集

Blog

ブログ、日々更新中!  
<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

大原 裕貴

@ooharayuuki

## 計画的に人口流入策を講じ、持続的な自治体へ

9月定例会一般質問:「人口の社会増減についての分析及び流入促進のための取り組みについて」より

### 質問の背景

- 人口減少や少子高齢化は、歳入の多くを個人市民税に依存する芦屋市としては芳しくない状況。
- 人口動態については全国的に同様の傾向にあり、自治体間の人口の取り合いや自治体間競争の過熱に繋がる恐れがある。
- 総人口や生産年齢人口の減少に歯止めをかけなければ、自治体の存続にも支障をきたす恐れがある。
- 効果的な策を講じるため、人口の社会増減の流れを掴んだ上で、どの層へアプローチするのか?を明確にする必要がある。

### 質問の要旨

- 総務省が公開している『住民基本台帳人口移動報告』によると転出超過は10代20代が中心だが、理由について分析済みか?
- 10代20代の転出者については、将来的なUターンによる再流入も期待できる。こうした層に対するアプローチについてどう考えるか?
- 人口流入のアプローチとして、引き続き首都圏を狙うのか。それとも大阪経済圏内を狙うのか。中長期スパンでの戦略はどうなっているのか?

### 市長答弁

若年層の転出超過の主な要因は、進学や就職に伴うものであると考えている。子育て世代への本市の魅力を訴求するため、創生総合戦略の基本目標の一つに「若い世代の子育ての希望を叶える」を掲げ、子育てや学校教育の充実を目指すとともに新成人が成人式を自ら企画・運営する成人式2.0プロジェクトや高校生で組織する「ASHIYA 想創課」が市政施行80周年記念事業協議会実行委員会を担うなど、若い世代による情報発信なども行っている。

シティプロモーションは国の総合戦略の目指すべき将来である東京圏への一極集中の是正を視野に入れつつ、転入ターゲット層である関西圏他地域や市外居住者を対象としたもの。

詳しい内容はこちら →



# 業務効率改善には、業務量の可視化が必要では？

9月定例会一般質問：「業務量の可視化による業務改善について」より

## 質問の背景

- 行政組織の中に極端に稼働時間が多い部署が存在している。
- 過重労働は毎年みられる傾向で、改善の兆しが見えない状況。
- 過重労働が続くと各個人のパフォーマンス悪化や組織の空気の悪化など、市民サービス低下に繋がる可能性がある。

## 質問の要旨

- 市役所で抱えている業務を工数管理し、各業務の細かな単位でのボリュームを可視化できないか。
- 業務量を可視化することで、負担が重くなっている部分を抜本的に改善できないか。

### 期待される効果

- 業務量を定量的に把握することができる。
- 業務を細かな単位で分類できるため、外注や応援要員に外出し可能な業務を切り出せる。
- 本来業務に注力可能な環境づくりに繋がり、稼働時間抑制・パフォーマンス改善にも繋がる。

## 市長答弁

組織マネジメント上のメリットもあるが、全ての業務に導入すると大きなコストが発生する。他自治体の先行事例では可視化のみを目的とするのではなく、RPAやアウトソーシング等の明確な対応策を行った上で実施した場合に効果を見込めることから、現在、超過勤務時間が多い職場へのヒアリング等による分析を実施しているところなので、具体的な対策を進める中で適切な範囲と手法を選択して実施していく。

## 思うこと

- 私が議員になったときから継続して生じている。なので、市の取り組みは少なくとも5年間は成果が出ていない。コストの考えは大事だが、ここまで成果が出ていないので、この際、思い切った取り組みが必要ではないか。
- 稼働を抑制させるには、業務量を減らすか人を増やすかしかない。必要な業務を減らす訳にはいかない。また、人を増やすとしても能力・経験のない人を増やしても根本的な解消には繋がらない。
- 稼働を大幅に増加させているボトルネックの特定や、単純業務などを切り離すための棚卸をする意味でも、現状把握は必要ではないか。
- 人の記憶は曖昧。ヒアリングでの状況把握よりも数値での状況把握の方が判断ミスを防げるのではないか。

詳しい内容はこちら →



## プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ (36歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年、芦屋市議会議員選挙にて初当選。平成31年、再選(現在2期目)

## 出前報告会募集中!

お一人での座談でも、複数での報告会でもお気軽にお申し付けください!  
希望日時と人数、希望テーマ(あれば)を添えて電話 or メールにてご連絡ください。